

2024年2月

からし種

カトリック片瀬教会



願っている共同体

ブランチフィールド神父

1月24日PM7時ごろ、大きな満月に覗かれて、机についている。

新しい年が走り出して、まもなく四旬節が来て、復活祭に向かって日頃の生き方の見直しをする季節になります。ほぼ4年続いたコロナの影響が和らいで、共同体として気持ちよく集まることが出来るようになりました。まだ教会に戻っていない仲間に声をかけましょう。愛のある温かさのある共同体のうちに一緒になるように、去年のうちに設立したコミュニティに是非とも力を入れましょう。だいたい前から見なかった顔を見て喜びましょう。愛のある温かさのある共同体でありたい。

そして何よりも祈る共同体でありたい。昔から暗記した祈りを唱えるだけでなく祈る。すなわち神様との繋がりの中で生きている上で、心を神様に開くように、また神様の声を聞くように。祈りは一方通行ではない。静けさのうちに神の声を聞くことが出来るように、静けさを大事にしましょう。

1月14日主日のミサの中でサムエル記の朗読にあったように「主よ、お話してください。僕は聞いております」静けさのうちに雑念が入った時には「私の主、私の神」と、呼吸を合わせながら唱えると雑念が消えるでしょう。

一日のうちに30分位、こういった静けさのうちに祈る人が大勢いれば、素晴らしい共同体になります。

もちろん以上の祈り方は大人のために考えています。子どものいる家ですと、子どもに合う、一緒になれる優しい祈りをしましょう。そして何よりも子どもたちをミサに連れて来ましょう。

願っている共同体とは、

1. 愛のある温かな共同体
2. すべての家庭に信仰の雰囲気のある共同体
3. 静けさのうちに祈って神様の声を聞くことのできる人の多い共同体

コロナ前の共同体に比べてより良いものになりましょう。

2024年2月度教会委員会報告

開催日時：2024年1月21日(日)午前11時30分～13時00分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、典礼、福祉、総務、宣教司牧、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、シャルル聖パウロ修道女会片瀬修道院、聖母訪問会モクテ修道院

□ブランチ神父のお話

1月が進んであつという間に四旬節、復活祭となります。私の願いは、コロナ前の元気ある状態になることです。前と同じようにすることはありません。コロナの影響が残っていて未だに教会に来られない人もいるでしょう。元に戻る様に声を掛け合ってください。時代は移り、価値観も変わります。でも子ども達に大切なもの、カトリックの家庭で祈る、家族と一緒に教会に来るように。自分達の子どもと一緒に信仰の道を進みましょう。お孫さんがいる人もいるでしょう。過去のまねをしなくてもいいが、大事なことを無くさないように。私たちは神様の子どもですから。

□全体の報告および連絡事項

1. 第5地区「証しする力を育てる部門」2月28日(日)14:00～16:00 戸塚教会 福祉部上林さんが出席
2. 横浜教区典礼研修会 2月12日(月・振替休日) 10:00～15:30 藤沢教会
申込期限2月4日 教会の研修会は体験の場と言えるのでできるだけ多く参加して体験してもらいたい。
3. 2月14日 灰の水曜日 ミサ時間を10:00と19:30の2回とする。
4. 委員・係交替
 - 1) 信徒名簿管理係 岩間さん ⇒ 中野さん
 - 2) 一粒会委員 西田さん、鈴木さん ⇒ 飯塚さん、池尾さん他に異動はないか、各部会確認する。
5. 掛軸のレプリカが完成。2月の第1主日にお披露目する。
6. 中和田教会献堂50周年 記念ミサ 2月24日(土) 10:00～ 委員長出席する。

□各部会からの報告

1. 財務部

2023年会計収支は厳しい状況。要因をまとめ次第委員会で報告する。

2. 総務部

総務の仕事は何か？はつきりしていないため教会でやらなければいけないこ

とをリストアップし内容と頻度を整理して信徒に広く協力を求める。リストアップ内容は次回委員会に提示する。

3. 典礼部

- 1) 昨年末、ミサ時間を9時に変更したが混乱があった。今後原則ミサの時間は変えないようにする。
- 2) 灰の水曜日迄に四旬節、復活節の準備のため、典礼委員会を開催する。

4. 宣教司牧部

クリスマスのカフェは、中高大青会とコラボした。これだけでなく、これから一緒にする機会を増やしたい。

5. 福祉部

小さき花の園のボランティア募集を始めた。近々部会を開く予定。

6. 教会学校

- 1) 3学期は、2月にスタートする。1月28日に子ども、保護者と話し合い何をするか決める。
- 2) 2月23日 横浜教会信仰教育委員会主催『教会学校リーダー研修会』が藤沢教会で行われる。テーマ:復活へと向かう私たちの四旬節の過ごし方
講師:田丸篤神父様 宮國さんが参加予定。

7. 中高大青会

クリスマスのカフェはたくさん参加した。一粒会の神学生との交流も手伝ってくれた。だんだんと活気がでてきた。

8. 一粒会

神学生との交流会に感謝。感想文を西田委員に依頼し「第五地区一粒会たより」掲載予定

9. 市内キリスト教連絡会

- 1) 1月20日のキリスト者一致のための合同祈祷会(於 湘南台バプテスト教会)は全体で48名(11教会)参加。片瀬からは8名参加した。
- 2) 4月6日 本年度最後の連絡会がYMCAで行われる。神父への参加要望。

10. 聖母訪問会

現在、修道院にチャプレンがいるのでなかなか片瀬に来られない。外国人は6人いるが、それぞれ使命がある。

11. その他

神父から各活動報告確認があり、まりあ食堂の報告があった。また、神父はこの教会へ来てからコロナ禍のため各部がそのような活動をしているか十分に

把握していないので部会を開催してほしい。

□ 検討・決定事項

1. 信徒大会は、2月25日（日）10時ミサ後に決定。
 - 1) 活動報告を各部会にもやってもらう。司会は副委員長とする。
 - 2) 信徒大会の重要性を信徒に伝えるようにし、参加を促す。
 - 3) 今年のテーマを「コミュニティの精神を深めよう」に決定。
2. チャリティバザーの収益寄付先の変更
計画していた寄付先のモロッコ地震被災者救済は、11月末で終了していたので、他の寄付先をカリタス・ジャパンの活動内容で検討した結果。「ガザ人道支援」に送ることとした。
3. 能登半島地震被災者救援募金は、1月末迄とし、教会から10万円を加えてカリタス・ジャパンに送ることとした。

次回委員会開催 2月18日

グェップ神学生との交流

1月7日（日）横浜教区のグェップ神学生が片瀬教会に来られました。

聖体奉仕の他、8時のミサ後には、教会学校の子供たちとの交流会、10時のミサ後は全体での交流会、茶話会が行われました。

グェップ神学生は、ベトナム北部出身で、家の末子であったためベトナムの南部にある修道会へ行くことに対して、両親の大反対を受けたこと。幼児洗礼時に授けられた「ヨセフ」というクリスチャンネームは、部族・家系ですでに決まっていた名前であること。ベトナムでは、フランス統治時代の影響でカトリック教徒が非常に多いことを話されていました。

質疑応答で「日本に来て苦労されたこと？」については、まず日本語の習得。「ひらがな」「カタカナ」「漢字」…一方を覚えると一方を忘れ、それはそれは苦労されたようですが、今では流暢な日本語でウイットに富んだ受け答えをしてくださいました。

「日本の習慣や食べ物で困ったことは？」については、「温泉」と「納豆」で、「納豆」はすでに食べられるようになったものの、「温泉」には未だに抵抗があるそうです。

昼からは、会場を聖堂から信徒会館に移して茶話会となり、数々のベトナム料理が用意されグェップ神学生を囲み、「聖心の布教姉妹会」のシスターたち、教会学校の子

供たち、その他全体での楽しい会食となりました。

これからあと一年間神学院で学ばれ、日本で叙階され司祭になられますが、その後、「信仰の宣教修道会」に所属されているので、ベトナムでの叙階のために帰国されるそうです。その達者な日本語、日本人と変わらぬその容姿、明るい魅力的なそのお人柄…どうぞ日本をベトナムのようなカトリックの盛んな国にするために、是非、日本での宣教にお越しくださいますよう希望いたします。今後もご健康で、「司祭」への道を歩み続けられますよう皆様でお祈りしましょう。



神父様からの贈り物

1月7日10時のミサ後、神父様から侍者の奉仕をしている幼児から若者たちに、感謝の品が渡されました。一昨年以来です。2022年から2023年の間に侍者をした皆さんが呼ばれ、一人一人が神父様からお礼の言葉と共に品を頂きました。学業、部活、習い事…その時代に即した忙しさの中で、スケジュールを調整して、たとえ一回でもお手伝いをしてくれた子供たちにお礼したいと言う神父様のお気持ちが、共同体全体に伝わり、温かい気持ちになりました。

子供たちは、共同体の未来を背負う大切な存在です。侍者の奉仕をすることは、信仰を深めると共に、正しい姿勢、所作を身につけ、日頃の生活で役立つことが多々あるはずです。今後も多くの子供たちが積極的に、侍者の奉仕に参加して欲しいです。そして子供たちが祭壇上で、緊張しながらも一生懸命お手伝いをし、その所作ごとにブランチャ神父様が、優しく「ありがとう」と仰っているお声が、マイクを通して漏れ聞こえる時、何ともほのぼのとします。また、子供たちの指導の担当者の皆様にも心から感謝いたします。



入門式

1月14日(日)と21日(日)の10時のミサの中で入門式が行われました。4名の方が、「神に近づき、キリストの教えに従って生きることを望まれました。神父様と代父母から、額に十字架のしるしをいただき、私たちの共同体の一員となりました。

四旬節第1主日の2月18日(日)藤沢教会での横浜教区合同入信志願式を経て、3月30日(土)の復活徹夜祭の入信の秘跡を無事に迎えられるよう…、私たちも自身の洗礼時を思い起こし、4名の皆様を支え励まし祈りましょう。



聖心の布教姉妹会のシスターより

シスター ミレーユ



片瀬教会の皆さま、主に神父をはじめ、それぞれの教会担当者の皆さま、そして信者の皆さまにご挨拶を申し上げます。クリスマスとお正月のお祝いおめでとうございます。

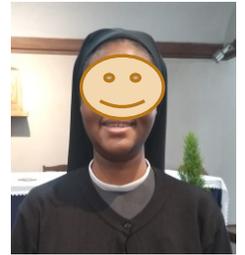
私は聖心の布教姉妹会シスターミレーユと申します。アフリカのベナンから参りました。片瀬教会への皆様との交わりの中で、神様から頂いた恵み、皆さまからの愛に感謝したいと思います。教会学校の活動担当者たち、お母さまたちに指導されて、子供たちと一緒に神様のみ言葉をわかちあったり、歌ったり、遊びをしたりしてここから感謝申し上げます。特にクリスマスのお祝いで、ご一緒にハンドベルをして、私にとって初めてですばかったな、と思いました。

主に神父の霊的な説教に養われたことにも感謝申し上げます。わたしたちが救い主をお迎えしてこの大きな喜びを皆とともにお祝いできました。但し私の喜びはもっと大きいです。なぜかという初めての日本ですから。本当にありがとうございます。

私たち聖心の布教姉妹会の姉妹も皆の為にお祈りしております。

シスター エマヌエラ

昨年の9月から片瀬教会に通わせていただきました。第1と第3日曜日が教会に行く日です。ミサ後教会学校のリーダーたちと、教会学校をさせていただきました。今年初めて日本で教会学校の体験させていただいています。最初の時は日本で教会学校に参加したことのない私にとって大変でしたけど、だんだん参加することによってその不安がなくなりました。状況は国によって異なるということが、日本に来てわかりました。片瀬教会では子供の人数が少ないことで皆一つのクラスになって教会学校を行っています。私の国では子供たちはとても大勢で約100人います。1年生から6年生のクラスがあります。3年生の卒業後に初聖体をいただいて、そして2年間勉強を続け、堅信を受けます。そしてまた1年間勉強を続けることがあります。毎週土曜日1時間半の勉強があつて、そして30分ぐらい教会での共同作業を行っています。教会学校に参加するたびに教会学校のカード(先生の印鑑をつけるカード)を提出しなければなりません。そして許可なしに3回教会学校を欠席したらそのクラスをもう1回しなければなりません。私も教会学校に通っていたとき2回同じクラスをしたことがありました。片瀬教会の教会学校は私の国と違って最初の時は驚きでした。でも国によっていろいろ異なるということをすごく感じさせていただきました。とてもいい機会を与えていただきありがとうございます。子供たちと接することができてとてもうれしいです、教会学校を通して学んだことを心にとめながら生かしたいと思います。これからもよろしく願いいたします。



シスター マルガレタ



私は教会学校の皆さんの交わりに入れて下さったことを心から感謝いたします。私はインドネシアのフローレス島からまいりました。フローレス島は日本と言えば長崎のような所。どうしてかという、カトリック信者が多いところですから。インドネシアでは74.2%はイスラム教、カトリックは2.6% 他のキリスト教は10.2%、仏教徒は1.0%、ヒンドゥー教1.6%、儒教は0.1%です。でもフローレス島ではカトリックは70%です。だから、教会学校の生徒が多いので、学年ごとにクラスに分かれます。片瀬教会の教会学校で一番印象深いのは、親がいつも子供と教会学校まで一緒に入ることです。それはとても大事なことと思います。子供達は時々、私たちの話すことがあまり聞こえないようです。でも親たちは、一生懸命に子供に説明してくれるので、とてもよかったです。やはり、親はいつもいい模範を子供達に教えるのは、子供にとって宝ものだなと思って、今は結果的にまだ感じないでしょうけれど、後できっと感謝するでしょう。それを見て

信仰は家庭から生まれるということをととても感じました。親は、子どもを教会に連れて行き、幼い頃からイエス・キリストと教会を愛する気持ちを心に植え付けましょう。なぜなら、将来、人生には多くの困難や問題や悲しいことや嫌なことに直面するでしょうが、教会と主イエス・キリストを知っているのです、どんなことがあっても神様と教会の共同体にいるから、安心する心があります。

私はこの片瀬教会の交わりは神様の恵みと感じています。そして、皆様いつも親切に声をかけて下さるので嬉しく思います。ありがとうございます。これからもよろしくお祈りします

今月の豆知識

きょうをささげる

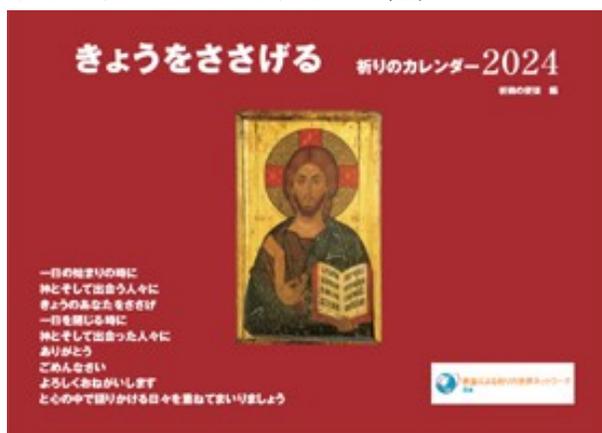
今年から「毎月の予定の初め」に月毎の「教皇が示された意向」と「日本の教会の意向」を掲載していますが、これは「きょうをささげる」（祈りのしおり 2024 祈祷の使徒編）です。このしおりは、「祈祷の使徒 イエズス会霊性センター『せせらぎ』」が編集しているもので、他に教会暦と毎日の福音朗読箇所が載せてあります。また、意向はカトリック新聞にも掲載されていますし、ウェブサイト「きょうをささげる」でもご覧になれます。

この「きょうをささげる」というのは19世紀にフランスで始まった習慣で、
「一日の始まりの時に 神とそして出会う人々に きょうのあなたをささげ
一日を閉じる時に 神とそして出会った人々に ありがとう ごめんなさい
よろしくおねがいします

と心の中で語りかける日々を重ねてまいりましょう」

というものです。

この「ささげ」の毎日は「祈祷の使徒」の運動として続けられ、2016年から教皇フランシスコが教皇庁のもとで推し進める運動として位置づけられたものです。



2024年2月

☆教皇の意向：終末期医療

人生の最終段階を病の中ですごしている方とその家族が、周囲の支えの中で、必要な医療と人間的なケアを受けることができますように。

☆日本の教会の意向：日本で働く外国人労働者

日本で働く外国人労働者が、よい生活環境に恵まれ、安心して仕事に励むことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予

曜日		典礼	ミサ時間	行事・活動予定
2/1	木			まりあ食堂
2	金	主の奉献 祝 初金	9:30	
3	土	福者ユスト高山右近殉教者 記		
4	日	年間第5主日	8:00 10:00 (子供のミサ)	
5	月	日本26聖人殉教者 祝		
6	火	聖アガタおとめ殉教者 記		
7	水			聖書と典礼を読む会 10:00
8	木			サダナの祈り
9	金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
10	土	聖スコラスチカおとめ 記		
11	日	年間第6主日 ※世界病者の日	8:00 10:00	
12	月			横浜教区典礼研修会 10:00(藤沢)
13	火			
14	水	灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) ※四旬節愛の献金(四旬節中)	10:00 19:30	聖書と典礼を読む会はお休み
15	木			
16	金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
17	土			
18	日	四旬節第1主日	8:00 10:00	3月度教会委員会、ミニ福祉バザー 横浜教区入信式 15:00(藤沢)
19	月			
20	火			
21	水			聖書と典礼を読む会 10:00
22	木	聖ペトロ使徒座 祝		
23	金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座 第5地区キリスト教講座担当者研修会 13:00(藤沢)
24	土			中和田教会献堂50周年祝福ミサ 10:00
25	日	四旬節第2主日	8:00 10:00	10時ミサ後、信徒大会 第5地区教会委員長会議、共同宣教 司牧委員会(大船)
26	月			
27	火			
28	水			聖書と典礼を読む会 10:00
29	木			

◆お知らせ◆

○各講座の正式名称

水曜日…**聖書と典礼を読む会**

金曜日…**キリスト教入門講座**

以前は「聖書講読会」「入信講座」と記載されたこともありますが、上記の名称と致します。講座内容に変更はありません。いずれも午前10時から、会場は信徒会館2階です。新しい参加者をお待ちしています。お問い合わせは小泉(090-4541-5574)まで。

○2024年度信徒大会開催

2月25日(日)10時ミサ後に聖堂で信徒大会を開催します。信徒大会は1年に一度、信徒が一堂に会し、私たち自身の教会のことを話し合う大事な場です。今年、教会がどう動いていこうとしているのかも知って頂きたく、参加をお願いします。昨年のテーマは、「信徒の交わりを広め、深めよう」でしたが、今年は、テーマを「コミュニティの精神を深めよう」とし、前年から引き続きさらに踏み込んで信徒の輪を作っていこうとしています。今回の大会では、委員長が一人報告するのではなく、各部会から活動報告をして頂きます。質疑応答の時間も設けますので、当日皆様の建設的ご意見をお待ちしています。

○チャリティバザー収益金送付先変更のお知らせ

昨年11月5日におこないましたバザーの収益は、当初の計画ではミンダナオ子ども図書館とモロッコ地震被災者救援に当てる予定でした。ミンダナオ子ども図書館には送金しましたが、モロッコ地震の方は11月でカリタス・ジャパンの支援が終了し送ることが出来ませんでした。そこで2月度教会委員会で再検討した結果、委員から要望意見が出たガザ人道支援に充てることにしました。

2024年2月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>